

はじめに

【目指す将来まちづくり方針】

本市においては、平成20年3月に、将来のまちづくりの指針となる第5次宇都宮市総合計画を策定し、この中で持続可能な魅力あるまちづくりを推進するために、都市機能の集約や公共交通の充実・強化などにより、ネットワーク型コンパクトシティの実現を目指すこととしています。

【交通の現状と課題】

モータリゼーションの進展などにより、主要道路における交通渋滞や高齢者ドライバーの事故の増加、環境負荷の増大など様々な問題が発生しているなか、市民の大切な生活の足である公共交通（鉄道、乗合バスなど）の利用者数は減少傾向にあり、これまで各種交通施策を実施しても、この傾向になかなか歯止めがかからない状況にあります。

このために、「公共交通の利用者減少が、交通事業者による運行本数の減少等を招き、それがさらなる利用者減少を生じさせる」公共交通の負のスパイラルとも言える悪循環が生じたものと考えています。

【都市交通戦略の必要性】

今回策定した交通戦略は、本市が目指すまちづくりのために、市民、交通事業者、行政が相互に連携し、協働でこの問題に取り組み「公共交通の利便性向上」「市民による利用者数の増加」「事業者の収益改善」の正のスパイラルに転換を図ろうというものです。

これからますます進む高齢社会、地球温暖化、社会保障費の増大による財政上の制約等の様々な課題に的確に対応し、持続可能な魅力あるまちづくりを推進するためには、市民、交通事業者、行政の連携のもと、選択と集中による総力戦により、この難局に取り組まなければなりません。

今、「宇都宮都市交通戦略」を策定し、官民が一体となって公共交通の充実・強化に積極的に取り組んでいく必要があると考えます。